

久我山小学校学校運営協議会 会議録



11月

会議内容(次第順)	
【報告事項】	
1	開会あいさつ
2	行政説明
3	近況報告
4	久我山共有ビジョンについて ○今後の予定 ○私の考える「大切なキーワード」
5	学校運営協議会委員の任期
6	学校支援本部より
7	事務連絡
8	閉会あいさつ
【協議事項】	
・久我山小共有ビジョンについて	
主な意見	
【報告事項】	
○行政説明	・杉並区学校施設整備計画について 教育委員会学校整備課より
○近況報告	・10月に体育発表が実施された。子どもたちも成就感をもてたようだ。
【協議事項】	
○人権教育推進校について	・久我山小学教育ビジョンを活かして取り組んでいく。 ・子どもたちに必要なものを考えていきたい。 ・働き方改革の観点も踏まえて推進していく。
《協議事項》	・人権について、アイヌの人々について話があったが、子どもたちがアイヌの人々について調べるのか。 ⇒アイヌの人々は、人権教育の課題の一つである。他にインターネットによる侵害など様々な人権課題がある。 ・アイヌの人々など大事であるが小学生には難しいのではないかと。身近な人権教育に取り組むとよいのではないかと。 ⇒コロナ禍における差別や偏見などについて考えたり、久我山小ビジョンに関連付けて考えたりしていくとよいのではないかと。 ⇒久我山小では、高齢者や幼稚園・保育園・子供園・中学校などのかかわりや「いのちの日」などの取組が実施されている。また、人権カレンダーなどについて取り組んでいた。12月に人権標語を作成する。ただ、形だけでなく実体験に触れたものを標語にするなど考えなければならない。 ・パラリンピックの選手の活躍で、普通に生活できる姿をみる事ができた。ダイバーシティやインクルージョンの考え方が子どもたちの普段の生活の中に入るとよい。 ⇒自分ごととして考えていくことで、人権教育につながると思う。 ・教育目標「人にやさしさ 自分につよさ」について。 ⇒「やさしさ」から、自分を出せない子どもたちもいると思う。自分を出せない子はコミュニケーションの不足から、言葉がでないこともあるのではないかと。本当のかかわりをもつためには自分に「つよさ」が必要ではないかと。 ・SDGsを通して人権について考えること。 ⇒小学生には難しいことかも知れない。大人でも現実的にできていないことがある。SDGsを考えると、それぞれの立場がある。それをどう教育していくか。どのように扱うことがよいのか。
○検討したことを基に学校としてたたき台を考える。次回は、そのたたき台から検討し、1月には、共有ビジョンを決定していく。	

次回の会議日程	
日時	令和3年12月17日(金) 16:00~18:00
会場	本校 視聴覚室